学校名	階上町立小舟渡小学校
授業者	教諭 木村美耶子(5,6年複式学級担任)

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

第33.5回学校いちご煮まつり

1-2. 学年

全校(中心は5年生)

1-3. 教科(単元を実施する教科を全てお書きください)

1~2年 生活科 体育 3~6年生 総合的な学習の時間、体育、図工、道徳、学級活動

1-4. 単元の概要

第 33.5 回学校いちご煮まつり

自分たちの手で「いちご煮まつり」を開催することにより、より深く、より広く「ふるさとの海」に関わる。どのような内容にするのか、実現させるためには何が必要なのか、どのような手順で進めていくといいのか、まさしく、総合的な学習であり、教科横断的内容になる。

学習内容は ①計画<学級活動> ②ポスターや看板づくり<図工>、③清掃<奉仕活動>、④関係機関との連絡<社会>、⑤伝承芸能「沖揚げ音頭」&創作ダンス「心の海」<体育>、⑥プログラム内容の練習
<体育・総合>、⑦いちご煮の準備<家庭科>、⑧進行、会場づくり計画<学級活動>、⑨本番<総合的な学習の時間>、⑩振り返り

協力機関…階上町総務課、産業振興課、教育委員会、大島衆議院議長、青森県警察本部、漁業部会、小舟 渡子ども会育成会、婦人会、盆踊り保存会、消防団、地域活性化団体かぜの会、父母と先生の 会、

1-5. 単元設定の理由・ねらい

本来なら、町で行っている「階上町いちご煮まつり」。なぜなら、ここ小舟渡が「いちご煮」発祥の地であるという説があり、青森県最東南端に位置するため、県内で最初に陽が昇る海岸であり、金の太陽、青い海や空、緑の芝生、白い灯台、と最高のロケーションだからである。学校の敷地内といってもいいくらいの場所でお祭りが開催されるため、児童にとっても「自慢のまつり」である。それが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止になった。児童の残念さも相当大きかった。そこで、これを大きなチャンスととらえ、学級の子に「自分たちで何かができないだろうか」と問いかけたところ、自分たちの手で開催しよう、ということになった。内容から準備、実行を通しながら、ふるさとの海を中心に、「人」「もの」「社会」とかかわりあいながら、ふるさとの海を愛する心情の育成、学校目標「伝える力の向上」達成、自分たちの可能性、夢の実現へ向けての様々な経験・体験がねらいである。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

- ①海のよさに気付き、海を愛する心情
- ②困難に打ち勝ち、お互いに協力し工夫することによって、実現する、という達成感
- ③様々な活動を通しての「伝える力」の向上
- ④地域のよさを感じ、支援してくださった人たちへの感謝の心
- ⑤自主性

1-7. 単元の展開(全25時間)

	· 早儿り展開(主20吋間)	
時	 学習活動・主な内容	○・教師の指導 / ☆主な評価
数	1 日 日 2 2 1 2 1	◇外部連携 / □使用教材等
2	計画づくり	○町のいちご煮まつりを参考に考えさせる
	プログラム作りを中心に進める	・新型コロナウイルス感染防止も考えさせ、できる
	①テーマ決定	こと、やらない方がよいこと、気を付けることな
	②内容(開会式、色紙贈呈、沖揚げ音頭、創作ダ	ども考えさせた
	ンス、ゲーム、盆踊り、いちご煮ふるま	☆一人一人が主体的に話し合いに取り組み、多くの
	い、閉会式)	発言、活発な話し合いをしていた
	会場づくりの準備	○小舟渡らしいテーマ、自分たちでできること、で
2	①テーマ、ポスターづくり	きないことは誰に頼めばよいかなどを助言
	②雰囲気づくり	☆5 年生がプログラムを、6 年生がポスターを、テー
	③新型コロナウイルス感染症対策の考え方	マはみんなで、というように分担・協力を考えて
		行えた。また、休み時間等も取り組んでいた
		◇PTA、大島議員事務所、かぜの会、消防団
	ウニとり、ウニの殻むき	○安全
4	①いちご煮に使うウニをとる	☆協力し合いながら一生懸命取り組み、きちんと準
4	②自分たちでむき、冷凍保存する	備できた
		◇漁業部会、保護者、婦人会
	アワビの調理、いちご煮づくり教室	○外部講師にお願いし、教えてもらった
	①アワビの体のことを知る	☆経験したことがある児童が少なかったため、必死
2	②アワビの調理の仕方を学び、実践する	に取り組んでいた。手際よく調理できた
	③地元のいちご煮の作り方を学ぶ	◇地域の方、漁業部会
	伝承芸能「沖揚げ音頭」、創作ダンス「心の海」	○全職員、全校児童で取り組み、分担して指導した
	練習	☆児童にとって、自慢(誇り)の音頭・ダンスであ
6	時数としては6時間だが、2ヶ月にわたって、裁	る
	量の時間(15分間)を使って、毎日取り組んだ	
	海岸大清掃	○なぜ、清掃をするのか考えさせる
2	①全校で手分けして、小舟渡の海をきれいにし、	☆海に対する愛着が深まったため、昨年よりも真剣
	お客様を迎え入れる準備をする	に集中して取り組んでいた
	②様々な活動ができる海に感謝する	

	最終打ち合わせ	○自主性を重んじるが、児童が気付かなかった点や、		
2	①担当の原稿を確認する	直した方がいい点などを指導し、考えさせる		
	②リハーサルを行う	☆不安よりも期待の方が大きくなった		
	③修正し、本番を迎える			
	本番	○児童が自分でやれるよう、支援・補助する		
4		☆ねらいは達成した		
		◇階上町総務課、産業振興課、教育委員会、大島衆		
		議院議長、青森県警察本部、漁業部会、小舟渡子ど		
		も会、婦人会、盆踊り保存会、消防団、地域活性化		
		団体かぜの会、父母と先生の会、		
	振り返り	○有意義な振り返りになるよう、観点を与える		
1		☆海に対する思いが強くなった		
		☆次の活動への意欲となった		
1				

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間(導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など)の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1. 単元における位置づけ

 単元
 25
 時間中の
 1
 時間目

※例: 単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4,5 時間目

2-2. 本時の目標

町で中止にしたいちご煮まつりを、自分たちの手でやろう、とする意欲をもたせる

2-3. 本時の展開

	主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点 (方法)
1	町のいちご煮まつりが中止になったことを受けてのそれぞれの思いを話す ・残念 ・自慢の沖揚げ音頭の閉校最後の披露ができなくなった ・海の活動ができない	○いちご煮まつりの役割に気付かせる参加する側から、主催する側へ
2	自分たちでやれないか検討する ・やれない ・できればやってみたい	○児童の考えが町のいちご煮まつりのような盛大な ものをイメージしているので、自分たちの「いちご 煮まつり」だったら何ができれば「よし」とするの か考えさせ、祭りに対するイメージを変える
3	やれるかどうか、具体的にプログラムを考えてみる ・やれそうだ ・やるぞ もっと詳しく計画を立てよう	○校長に前もって相談し、学校としてどこまでバック アップできるか、また、関係機関とはどこまで連絡 できるか確認しておく(評)児童の表情観察、発言内容、振り返りカード
5	振り返り	

3. 今回の活動の自己評価

自分たちで「いちご煮まつり」を作ろうなどと、今まで考えたこともなかったに違いない。児童の「やる ぞ」という表情がとても輝いていた

また、今まで「今までもやっていたから」感・「やらされていた」感の強かった海岸清掃活動や海の学習会への取り組み方も、とても積極的になった

児童の様々な学習活動のエネルギーになった

4	今後	\mathcal{D}	詚	誀
4.	7 1/2	V ノ	ᇠ	小只

- ・海に対する心や行動をいかに持続させるか
- ・学校が閉校となるので、来年の活動につなげられない

_	本学習内容報告書活用にあたっ	ての図音片
5.	本子省内谷報宣書店用にめたつ	しい留息思

・ 本子自門存取口責任所にめたりての由息点
寺になし

- ※実施した単元ごとに作成してください。
- ※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。
- ※基本レイアウト

フォント: MS 明朝、10.5 ポイント / マージン: 上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例: 学習内容報告書 海洋市立パイオニア小学校1

※年間指導計画(年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料)があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。

「テーマ準備」



「開会式」



伝承芸能「沖揚げ音頭」



創作ダンス「心の海」



「地域の方々と」(盆踊り)



「感謝をこめて」(いちご煮振る舞い)

